

0-8

網膜色素変性症に対するハンドヒーリングの効果

Effects of Hand Healing on Retinitis Pigmentosa.

○豊田 美都¹⁾, 後藤 牧子¹⁾

1) 太陽の丘クリニック

Effects of hand healing on retinitis pigmentosa (RP) were studied. We conducted survey on the subjective symptom and QOL (quality of life) from 20 patients of RP treated with hand healing in our clinic. 19 patients reported obvious improvements on symptom and QOL and only 1 case showed no improvement. There was no case with complication. These results suggested that hand healing is effective for RP.

【目的】

網膜色素変性症は、国の難病に指定されており現時点では治療法は確立されていない。ハンドヒーリングは、外気功・セラピューティックタッチ・レイキなどと同様、エネルギー療法に含まれる。当クリニックではハンドヒーリングを用い、これまでに多くの疾患や症状における改善例を経験している。今回、網膜色素変性症に対するハンドヒーリングの効果について報告する。

【方法】

2012年6月、かかりつけの病院（他院）にて網膜色素変性症と診断され、ハンドヒーリングの施術を受けた患者計20名（男性6名、女性14名、平均年齢53.7歳、平均罹病期間16年、平均治療期間3年）を対象に自覚症状とQOLの改善についてアンケートを行った。施術頻度の平均は1週間に1回であった。うち3例は、他院にて治療開始前後で視野検査を行った。

【結果】

アンケートの結果、20例中19例が「改善した」と答え、1例のみ「横ばい」との回答であった。網膜色素変性症は進行性の疾患であるが、症状が悪化した例は1例もみられなかった。「改善した」と答えた19例では、夜盲・視野狭窄・視力低下・色覚異常・羞明といった症状の改善と明らかなQOLの改善が認められた。3例でハンドヒーリングの施術開始前後で視野検査を比較したところ、検査上は有意な差は認められなかった。しかし3例ともに自覚症状、QOLの明らかな改善を認めた。

【結論】

網膜色素変性症に対するハンドヒーリングの治療は、臨床的に有効であると考えた。また、視野検査により検査上視野狭窄は改善していなくても、自覚症状とQOLともに大きな改善が得られた。このことは大変興味深く、健全な組織が代償している可能性も示唆され、今後、さらに症例を重ね吟味していく必要がある。